

農業用ダム（12か所）の貯水状況について（令和7年8月29日修正（下線部））

- 7月からの高温・少雨に伴う渇水により、貯水率が平年に比べ大きく低下【参考1】
- そのため、県内42土地改良区の中には、応急ポンプによる排水の再利用等により用水確保に取り組んだところもあった。【参考2】
- しかしながら、十分な用水確保には至らず、一部農地では、番水や断水等による水量の制限がみられた【参考3】
- 8月に入り、盛岡地域では、まとまった降雨があり改善が見られたが、県南地域では依然として降雨が少なく、ダムやため池等が十分に回復していない状況が続いている。
- 8月26日時点で、胆沢ダム（多目的ダム）においては、農業用水の取水停止が続いている。

岩手県内の主な農業用ダム等



【参考1】農業用ダムの貯水状況

貯水状況	貯水率	対平年比
6月 1日時点	79.0%	108.4%
7月 1日時点	52.4%	87.9%
8月 1日時点	30.3%	48.4%
8月 7日時点	27.6%	39.8%
8月 21日時点	26.1%	40.9%
8月 26日時点	23.6%	41.1%

【参考2】応急ポンプによる取水状況



【参考3】県内42土地改良区における配水への影響

取水状況	通常どおり	制限あり※
7月 26日時点	19(45%)	23(55%)
8月 7日時点	26(62%)	16(38%)
8月 21日時点	27(64%)	15(36%)
8月 26日時点	<u>33(79%)</u>	<u>9(21%)</u>

※制限あり：番水の実施、取水量の制限、補助ポンプによる補水